

上・全国から集う請願代表。下右正面・河野衆議院議長。下左正面・高橋千鶴子(共)議員と。



No.372

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連  
会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

### 治安維持法犠牲者への国家賠償法制定を求める

### 請願署名へのご協力ありがとうございました

五月十日の国会請願の成功のためご協力いただいた支援者の皆さん、各団体代表の皆さん、同盟会員の皆さんに心からお礼を申しあげます。

この日、全国からの代表一三五名は、三二万余の請願署名を持って衆議院議員会館に集まりました。代表団は三五〇名以上の衆参両院議員に面会し、戦前、戦中に主権在民をとない、侵略戦争に反対したことを理由に、弾圧を受けた治安維持法犠牲者に対する謝罪と国家賠償を求める要請を行いました。

戦前の犠牲者、田熊真澄さん(96歳)、松崎濱子さん(92歳)も先頭に立って切々と訴えました。

同盟代表は、日本共産党の穀田衆議院議員、井上参議院議員の紹介で、河野衆議院議長、扇参議院議長、南野法務大臣にも面会し要請しました。扇議長、南野法相は、それぞれ「皆さんのつらい体験を二度と起したくない、戦争には反対です」と述べられ、河野衆議院議長も、「戦後六〇年の節目の年ですが、日本の現状を憂慮しています。過去を忘れてはならない、皆さんの運動は意義のあることです」と理解を示されました。

私たちは、この成果をふまえ、ひきつづき来年五月の国会請願にむけ五〇万署名活動を展開します。

都議選に勝利し、憲法改悪を許さず、日本の平和、民主主義の前進のため、いっそうのご支援、ご協力をお願いします。

二〇〇五年六月

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

会長 中西三洋